## 被害防除計画書(記載例)

	転用事業者	南部 太郎	
<ul><li>■ 該当事項に○印及び必要事項を記載ください。</li><li>■ また下の空欄には具体的な被害防除場合は、その理由を記載してくださ</li></ul>	措置について記入		, ,,,,,, = ,,=,,
1 周辺農地、用排水路への土砂流出、 の発生、湧水、汚濁水、捨石等による (1) 申請地の造成計画の内容 ア 盛土を行う。(最高 0.8 m、イ 切土を行う。(最高 m、x ※盛土または切土を行う場合の法 ウ 現状のまま利用する。	<b>5周辺農地の営農条</b> 最低 <b>0.3</b> m) 最低 m)	件に支障を及ぼさない	いための措置。
(2) 上記(1) に伴う被害防除措置 ア 擁壁を設ける。 イ 土羽打 エ 緩衝地を設ける。 オ 防護策 カ その他(		種子散布等により法	₹面保護をする。
<ul> <li>(3)雨水・排水計画</li> <li>① 排水方法</li> <li>ア 溜桝 イ 調整池</li> <li>② 直接放流先</li> <li>ア 河川</li> <li>エ その他(</li> </ul>		エ その他( 豊業用水路(排水路 )	) 用水路)
<ul><li>(4)汚水排水計画</li><li>① 排水方法</li><li>ア 合併浄化槽 イ 集落排水オ その他(</li></ul>	く ウ 公共下	水道 エーくみ	⊾取り
② 直接放流先     ア 河川 イ 道路側溝(第 エ 集落排水 イ 公共下水(5)具体的な被害防除措置の内容及び 具体的な内容及び理由を記載 2 周辺農地への日照、通風、通作等に	<ul><li>対 カ そ</li><li>が被害発生の恐れが はしてください</li></ul>	の他( <b>ない理由</b>	用水路)
<ul> <li>(1)被害防除措置</li> <li>ア 施設等の隣地からの距離(幅終 イ 施設等の高さ(高さ約 5.</li> <li>ウ 隣接農地への通路を確保する。</li> <li>エ その他(太陽光発電設備の場合)</li> <li>年間に3回(○月、○月、○ を実施する。</li> </ul>	.5 m) ( 新設 既設 は運転開始後の草刈	) 」りの計画を詳細に記	

(2) 具体的な被害防除措置の内容及び被害発生の恐れがない理由

・当該申請地のフェンス内側及び外側、当該申請地に面する農道

具体的な内容及び理由を記載してください

## 3 その他周辺農地の営農条件に支障を及ぼさないための措置 ならない。 ○隣接農地に日照通風などの障害とならないか (該当に○をする) なる 申請地の東側隣接地の地目(現況) 西伯二郎 宅地 所有者 に接している IJ IJ 西側 宅地 西伯二郎 南側 公衆用道路 IJ 南部町 IJ IJ IJ 会見三郎 北側 $\mathbf{H}$ ○隣接耕作者から転用による被害が無い旨の承諾 有 無 (該当に○をする) 承諾がない場合はその理由

- ○宅地にすることにより耕作路、灌漑用水路が隣接している場合はどうするか(工場で廃油が流れる恐れがある場合はその処理方法を具体的に記入すること)
- ○土地改良事業施行の有無(用水関係、土地区画整理関係、水抜き、畑地灌漑等改良関係) 有 無 (改良区のある場合は改良区理事長から転用しても良いことの意見書を添付) この意見書の交付を申請した日から30日経過しても意見書の交付が受けられない時はその交付を受けられない理由を記入すること)

○下水 (炊事、風呂、洗濯その他) の処理方法 (添付図面に図示しておくこと)

(該当に○をする)

既設の下水路、排水路に流す

下水路を m新設して既設の下水路排水路に流す 下水溜を作って処理する

○申請土地に接している道路 (該当に○印を、空欄には数字を記入のこと)

国道 県道 町道 部落道 農道 私道

建築基準法による道路使用指定指導済(申請 年 月 日) 同法の指定未申請

同法の指定許可済 (年月日第一号)

○幅員 6 mの道路があり、この道路に申請地が 12.5 m幅接続している

## ★家族構成(住宅建築の場合)

		氏	名	年	齢	備	考
1	南部	太郎		48			
2	IJ	花子		47			
3	"	桜子		17			
4	"	蛍子		15			
5	"	柿之助		13			
6							
7							